

港湾業務艇を使った離島における物資輸送訓練を実施します

～命のみなとネットワーク形成に向けた取組～

国土交通省は、みなとの機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワーク「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取組を進めています。

このたび、稚内開発建設部は、利尻町が主催する「令和7年度 利尻町防災訓練」に参加し、港湾業務艇（りんどう）を活用した物資輸送訓練を実施します。

本訓練を通じ、災害時における陸路の寸断や地域の孤立に備えます。

記

1. 内 容 利尻町が主催する「救援物資受入れ訓練」のうち、港湾業務艇（りんどう）を使った物資輸送訓練
2. 日 時 令和7年5月25日（日）9時30分～10時30分
3. 場 所 （出発）沓形港
（到着）仙法志漁港
4. 添付資料 別紙1：「命のみなとネットワーク」について
別紙2：令和7年度利尻町防災訓練
別紙3：訓練場所位置図
別紙4：訓練の状況写真申込書
5. そ の 他 訓練の取材や状況写真の提供を希望される場合は、「申込書」にてお申し込みください。なお、天候等の事情により、主催元の利尻町防災訓練が中止となる場合がありますので、ご了承ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話 0162-33-1160

稚内開発建設部築港課 課長補佐 松谷 明典

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.ml.it.go.jp/wk/>



国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 電話 0162-33-2758

稚内港湾事務所 第3工務課長 西澤 英樹

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.ml.it.go.jp/wk/>

「命のみなとネットワーク」について

- 豪雨による洪水や土砂災害等により陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めている。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



H30年7月豪雨時の物資輸送
(広島県中田港)

【被災者の救援輸送拠点】



R3年8月大雨で孤立した地域で
住民輸送を実施 (青森県風間浦村)

【生活支援拠点】



R5年6月奄美地方大雨時、花天漁港へ
停電復旧に必要な作業車両を海上輸送
(鹿児島県篠川港)



H28年熊本地震発生後、官公庁船から
市民への給水を実施 (熊本県熊本港)

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組



支援物資輸送訓練 (和歌山県日高港から由良港へ)
[令和6年1月]



災害支援協定の締結 [令和6年3月]
(宮古市(右から2人目が山本市長)と
国土省釜石港湾事務所)



支援物資輸送訓練
(北海道香深港から礼文西漁港へ)
[令和6年5月]

令和 7 年度 利尻町防災訓練

訓練目的

この訓練は、防災に関する知識の普及を図るとともに、防災意識を高めて、町の防災力向上に努める。

訓練日時

令和 7 年 5 月 2 5 日（日） 1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0

訓練会場

杓形地区及び利尻町交流促進施設（どんと）

訓練項目

○前段訓練

- ・ 情報伝達訓練
- ・ 住民避難

○後段訓練

- ・ 段ボールベッド組立体験
- ・ 炊き出し、非常食の喫食体験
- ・ 備蓄品の紹介、体験
- ・ 自衛隊人命救助セット紹介等
- ・ 救援物資受入れ訓練

主催

利尻町

参加機関・団体

稚内警察署、利尻礼文消防事務組合消防署、陸上自衛隊、国土交通省（稚内港湾事務所）、利尻町赤十字奉仕団

訓練場所位置図



【別紙 4】

国土交通省北海道開発局

稚内開発建設部 稚内港湾事務所 第3工務課長 西澤 宛

申込先

メールアドレス：nishizawa-h22aa@mlit.go.jp

FAX：0162-34-1757

『港湾業務艇による物資輸送訓練』 訓練の取材及び状況写真申込書

訓練の取材や状況写真を希望される場合は、本申込書により、メールまたはFAXにてお申込みください。

申込締切は、5月22日（木）です。

申込日： 月 日

会社名及び部署	
取材者名	
連絡先（TEL）	
メールアドレス	

※ご記入いただいた個人情報は、本訓練以外の目的には使用いたしません。